

Sx500 シリーズ スタック 可能 スイッチのプロファイル DSCPマッピングからの設定

目標

Differential Services Code Point (DSCP) はレイヤ3 にパケットの QoS レベルの評価です。プロファイル パケットから QoS によって規定される制限を超過するトラフィックフローの部分はです。クラスマップに割り当てられるポリシング機能はこのトラフィックの取るべき処置を規定します。

トラフィックフローが QoS によって規定される限界を超過すればおよびこれが超過すればアクションプロファイル DSCP がから原因なら、スイッチはプロファイル IP パケットからの New 値の初期値を再マップします。それはまたプロファイル パケットからの新しい DSCP 値と物理的に 初期値を取り替えます。

この資料の目標はスイッチのプロファイル DSCPマッピングから設定する方法を説明することです。

適当なデバイス

- Sx500 シリーズ スタック 可能 スイッチ

[Software Version]

- 1.3.0.62

プロファイル DSCPマッピングからの設定

ステップ 1.プロファイル DSCPマッピングから > QoS 拡張モード > Quality of Service (QoS) 選択するべき Web コンフィギュレーションユーティリティへのログイン。プロファイル DSCPマッピング ページから開きます:

Out of Profile DSCP Mapping

DSCP Remarking Table							
DSCP In	DSCP Out	DSCP In	DSCP Out	DSCP In	DSCP Out	DSCP In	DSCP Out
0	0 ▼	16	16 ▼	32	32 ▼	48	48 ▼
1	1 ▼	17	17 ▼	33	33 ▼	49	49 ▼
2	2 ▼	18	18 ▼	34	34 ▼	50	50 ▼
3	3 ▼	19	19 ▼	35	35 ▼	51	51 ▼
4	4 ▼	20	20 ▼	36	36 ▼	52	52 ▼
5	5 ▼	21	21 ▼	37	37 ▼	53	53 ▼
6	6 ▼	22	22 ▼	38	38 ▼	54	54 ▼
7	7 ▼	23	23 ▼	39	39 ▼	55	55 ▼
8	8 ▼	24	24 ▼	40	40 ▼	56	56 ▼
9	9 ▼	25	25 ▼	41	41 ▼	57	57 ▼
10	10 ▼	26	26 ▼	42	42 ▼	58	58 ▼
11	11 ▼	27	27 ▼	43	43 ▼	59	59 ▼
12	12 ▼	28	28 ▼	44	44 ▼	60	60 ▼
13	13 ▼	29	29 ▼	45	45 ▼	61	61 ▼
14	14 ▼	30	30 ▼	46	46 ▼	62	62 ▼
15	15 ▼	31	31 ▼	47	47 ▼	63	63 ▼

Apply Cancel Restore Defaults

提供される QoS サービスの 3 つのレベルがある例を使って考えて下さい (銀、金およびプラチナ サービス)。これらのサービスに与えられる着信 DSCP 値は 100、200 およびそれぞれ 300 です。そのようなトラフィックが同レベルのトラフィックを使用するが、このトラフィックを示すのに使用されている DSCP 値によってが 400、500 および 600 である他のサービス プロバイダーに転送されれば、彼らが発信値にマッピング される時プロファイル マッピング することから受信する値を変更します。プロファイル DSCP マッピング ページからユーザをスイッチの着信およびアウトゴーイングトラフィックの DSCP 値を変更することを許可します。DSCP は入っている alternate 値にマッピング されるどの必要性 パケットの DSCP 値を表示し。

ステップ 2. 受信する値がドロップダウン リストからどこにマッピング されるか DSCP を評価します選択して下さい。

ステップ 3. 実行コンフィギュレーション ファイルをアップデートするために 『Apply』 をクリックして下さい。

注: 復元 デフォルトがクリックされる場合、デフォルト値は復元する。